

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 11 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1 - (1)	開設から13年の間、事業所の理念「5項目」を守り運営してきた。その間にグループホームならではの理念の必要性に気付かされた。事業所の理念を大切にしながら、新たにグループホームならではの理念を創設したい。	事業所の理念「笑顔でみたされる介護」を根底におきながら、グループホームならではの理念を職員全員で考え、日々の介護現場に浸透させる。	日々の介護現場、また個別の面談において理念の大切さを教育。事業所の理念である「笑顔で満たされる介護」を実現するために自分達が行わなければならないことを一人一人の職員から聞き取りそれを、グループホームの理念としてまとめる。	12ヶ月
2	26 - (10)	ご利用者様がより良く暮らすための介護計画を実際の介護現場に反映させる努力が足りなかった。毎日のサービス評価をチェック出来るようなツールを用意出来ていなかった。	ご利用者様の状況やニーズを全職員から聞き取り、介護計画の作成に活かす。またご利用者様の状況やニーズに変化があった際は、すみやかに介護計画を更新し、善職員に周知徹底する。	ご利用者様の介護計画は全職員が内容を正しく把握し、同じ介護を提供出来るようにする。また介護目標は実現可能なものとし、日々の現場で実現できたどうかチェック出来るリストを作成。全職員が振り返れるようにする。	12ヶ月
3	6 - (5)	身体拘束をしないケアの実践のため研修や勉強会を積極的に行っているが、記録の不備等で参加した職員は理解していても、都合で不参加だった職員へのひろがり不十分だった。	全職員が正しい介護の知識を得られるようにし、全体のスキルアップを図る。	市や県が行う介護研修の情報を、全職員に知らせる。また参加を希望する職員に最大限の便宜をはかうようにする。また、研修後のレポートを他の職員に配布。情報の共有化を図る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。